



真剣に学ぶ子 心の美しい子 健康でたくましい子

# Let's fly tomorrow



衣丘小だより9号 令和8年6月12日

## ★学校行事から見えるもの～5年生野外学習を終えて～★

6月9・10日の2日間、5年生は豊田市総合野外センターで野外学習（初めての宿泊学習）を行いました。1日目は時々小雨がぱらつく涼しい気候の中、学年レクリエーションや野外炊事（カレーうどん作り）、キャンプファイヤーを行いました。2日目は熱中症対策をしながら、クラフト（写真入れ）やアスレチックを行いました。野外学習のめあては、



①友達と協力して活動すること②自分で考えて行動すること③自然を大切にすることの3つです。野外学習当初の子どもたちの様子は下に示した通りで、子どもたちの意識が次の活動に向くまでに時間がかかり、全てのスケジュールがどんどん遅れてしまう状態でした。

### 【野外学習当初の様子】

- ・時間を意識することが苦手
- ・自分のしたいことが優先（いつまでもしゃべっている）
- ・周りの人への働きかけが消極的
- ・とにかく走り回る



### 【野外学習を通して変化した様子】

- ・5分前行動を意識して集合・整列することができた。
- ・クラスや学年に呼びかける声が出てきた。
- ・安全や安心のために指示したことを全員が守ろうという意識が見られた。

今回の野外学習では、子どもたちの変容の背景に、教員の本気の語りかけや、仲間とともに振り返る時間、そして成功体験を大切にする積み重ねがありました。例えば、火起こし体験では、一番早いグループが14分で火がついたのに対し、どうしても火がつかないグループがいくつかありました。次の工程を考えると人工的に火をつけることもあるのですが、所員さんや教員の手助けもあり、あきらめずに挑戦し続けた結果、すべてのグループが火をつけることができました。この経験が子どもたちにとって大きな自信となりました。子どもたちは、体験の中でこそ心を動かし、仲間との関係の中で大きく成長します。その意味で、学校行事や学年行事は、知識の習得だけではない「人としての成長」を支える重要な教育活動です。本校ではこれからも、一つ一つの行事を大切に、子どもたちの「できた」「分かった」「つながった」という実感を育ててまいります。



## ★特色ある学校の推進について（みかんの栽培・運動場の芝生は豊スタから）



6月12日（金）、美味しいみかんがたくさん育つように、縦割り班ごとに摘果作業を行いました。

6月13日（土）、芝生を管理するための「芝レンジャー」の活動があります。